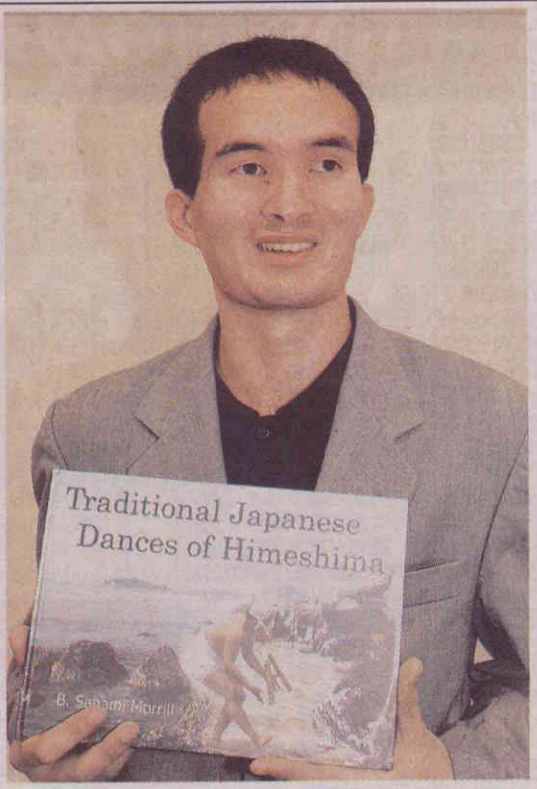
さらし巻き、村民と触れ合った一番の思い出

伝えたい 姫島盆踊り

元国際交流員 写真集を出版

勤務地の中国などで配布



「姫島は第二の古里です」と語る姫島村の元国際交流員ベンジャミン・サナミ・モーリルさん

姫島村の元国際交流員、ベンジャミン・サナミ・モーリルさん（二九）は、ユニークなキツネ踊りなどで知られる姫島盆踊りの写真集を出版。「世界の人に素晴らしさを知ってほしい」と願い、勤務地の中国や母国カナダの人に配っている。

モーリルさんは日系カナダ人。二〇〇〇年八月から〇三年七月まで三年間、姫島村で生活。盆踊りでは毎年、青年団の一員として、ほおかぶり姿でアヤ踊りの輪に加わるなど、さらしを巻き、溶け込んでいた。

日本を離れた後は、中国・青島の大学で日本語を指導。七月に「第二の古里・姫島の良き文化を記録し、伝えられたら」と、趣味で撮りためた写真を一冊にまとめた。

写真集のタイトルは「Traditional Japanese Dances of Himeshima」（姫島の伝統的な踊り）。「島全体が一つになる姫島の盆踊りはカナダにはない文化で、一番の思い出」と、盆踊りを中心に編集した。

数十種類ある踊りの中から代表的なアヤ踊り、キツネ踊り、タヌキ踊り、猿丸大夫などを取り上げ、写真を由来や踊り方の説明とともに掲載。お囃子の歌詞も解説している。

「古事記」にさかのぼる島の歴史や、島内に点在する七不思議、庄屋がいた古庄家屋敷、舟引き祭りなど文化も紹介。

説明文は英語と日本語の二カ国語。日本の宗教的、歴史的な背景を知らない外国人向けに英文は詳しく、日本文は簡潔に、と工夫している。

五百冊を作製。青島にある日本語学校や知人がいる江西省の高校に配布。カナダにも送った。

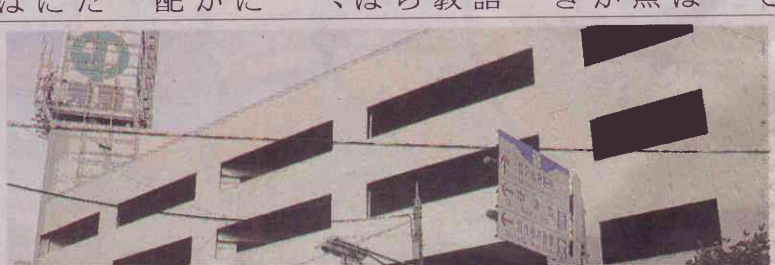
十月に姫島村を訪れた際、村の図書室や世話になった村民に贈り、喜ばれたという。

「人情に厚く、独特の文化が根付く姫島での生活は忘れられない」と、来日のたびに必ず足を運ぶ。

英語、フランス語、中国語、日本語と四カ国語に堪能な語学力と世界を渡り歩く行動力を生かして、「いろんな国の人に姫島や日本を知ってもらいたい」と夢を描いている。

休業中の中津館
寿屋くらし館

石原



民事再生手続きに伴って休業中の寿屋（現カリーノ・熊本市）中津店の「くらし館」を、北九州市に本社を置く「石原事」（石原浩二代表取役会長、資本金一億三万円）が引き継ぎ、食中心のスーパー「シア